

## 市議会6月定例会



26万市民が震災からの復興を願った「湘南ひらつか七夕まつり」

# 防災対策予算の補正など 11議案を可決

平塚市議会は、6月7日から30日まで24日間の会期で6月定例会を開催しました。

今定例会では、防災対策や公共施設の耐震化促進をはじめとする平成23年度一般会計補正予算や、新たに「平塚市暴力団排除条例」を制定する議案、副市長の選任など計18案件が市長から提出されました。

また、「神奈川県最低賃金改定等」についての意見書を県知事に提出する議案が議会運営委員会から提出され、審議の結果、報告を除く11議案を原案どおり可決しました。

※議案と審議結果の一覧を8面に掲載しています。

### 一般会計補正予算

#### 防災関連で7000万円増額

東日本大震災の発生を受け、今定例会では「防災マップ」の制作をはじめとする防災関連の事業に約7000万円の補正予算が計上されました。また、福島第一原子力発電所の事故を受けて注目される「再生可能エネルギー」である太陽光を利用した発電システムの設置に対する助成費用も計上されました。

そのほか、平塚駅前商店街のアーケード改修費用など合計3億5474万6000円が計上され、平成23年度一般会計予算額は807億9475万円となりました。

#### 防災・耐震化促進関連の主な補正予算

●防災マップの制作、海抜表示板の設置、津波による浸水シミュレーション映像

### 11議案を可決

#### 副市長の選任に同意 鈴木氏と木川氏

今定例会では、市長から鈴木喜明氏（元平塚市企画部長）と木川康雄氏（元神奈川県安全防災局長）を新たな副市長とする議案が提出されました。議会では適任者として同意し、両氏は6月8日付けで本市副市長に就任しました。

#### そのほかの補正予算

- 福祉会館、勤労会館、東部・北部学校給食共同調理場、八幡・南原・須賀公民館の耐震診断費用 2658万円
- 防災行政無線（平塚広報）による放送の内容を確認できるテレフォンガイドの導入費用 257万円
- 津波発生時の避難場所となる小・中学校校舎屋上への安全対策用フェンスの設置費用 2314万円
- 福社会館、勤労会館、東部・北部学校給食共同調理場、八幡・南原・須賀公民館の耐震診断費用 2658万円
- 平塚駅前商店街「湘南スターモール」のアーケード改修に対する助成 5300万円
- サン・サンスタッフ派遣事業（小・中学校の学習支援） 1672万円
- 防災行政無線（平塚広報）による放送の内容を確認できるテレフォンガイドの導入費用 257万円
- 津波発生時の避難場所となる小・中学校校舎屋上への安全対策用フェンスの設置費用 2314万円

### 「暴力団排除条例」を制定

平穏な市民生活の実現に向け、地域社会で暴力団排除を進めていくためには、私たち市民の姿勢を明確に示す必要があります。今定例会では市の責務や市民・事業者の役割などを定めた「平塚市暴力団排除条例」が市長から提案され、議会ではこの議案を全会一致で可決しました。

- ◆暴力団排除条例で定める主な事項
- 暴力団の排除に向けた市民の役割
- 市職員などへの不当要求に対する措置
- 契約事務、給付金の交付、公の施設の管理などにおける暴力団排除
- 市民や事業者に対する支援



住宅の屋根に設置した太陽光発電システム

援補助員の増員）  
160万円  
●太陽光発電システム設置費用の助成  
870万円

# 総括質問

## 湘南フォーラム

出村 光 議員

### 平塚市は大震災に どう対応したのか

**問** 東日本大震災により多くの方々が今もなお避難所等でのつらい生活を強いられている。本市は東北地方の被災地へどのような支援をしてきたのか。

**市長** 災害時の相互応援協定を締結している宮城県石巻市には、本市が備蓄している毛布や保存食、生活物資、市民や企業から提供された物品を搬送し、避難所支援職員なども派遣している。友好都市である岩手県花巻市に対しても、生活物資などを提供した。また岩手県へは災害医療チームを、宮城・福島両県には緊急消防援助隊を派遣した。

### 所信表明への 決意を市長に問う

**問** 市長は所信表明で「将来を見据えた新しい行財政計画を作る」と述べている

6月定例会では16人の議員が市長のマニフェスト(政策公約)や、東日本大震災の発生を受けて対応が急がれる防災関連の取り組みなどに対し総括質問を行いました。  
※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています

が、改革は本当にできるのか。決意を伺う。

**市長** 平塚をよくするため自ら動き、働きかけ、職員と一丸となって改革に取り組みたい。

**問** 本市の三大事業である市役所新庁舎建設、次期環境事業センター整備、市民病院整備の進捗は、市民にとって大変重要なことである。積極的に情報を提供していくべきではないか。

**市長** 三大事業については、今後も事業の節目に情報を提供していく。

### 小泉 春雄 議員

#### 選挙結果と 市政運営について

**問** 市長選挙で落選した2候補の政策には素晴らしいものもあったと思う。市民が主役の市政運営に努めるのであれば、他候補の政策でもよいものは取り入れるべきだと思うが、市長の所見を伺いたい。

**市長** 候補者は、だれもがこのまちをよくしたいという思いで立候補したと理解している。考え方や手法の違いはあるが、私の政策と

どこにあるのか。  
**市長** 子育ての大変な時期を支援したいという思いがある。近隣自治体の状況や市民の要望などから総合的に見て、対象を小学校6年生まで拡大することが必要と判断したが、所得制限を設け、ある程度収入を得ている世帯には医療費を負担していただく考えである。

**問** 町内福祉村について、未設置地区への設置促進策を伺う。  
**市長** 地域住民の主体的な参加を基本に、住民相互の助け合い、支え合いにより、だれもが安心して生活できる仕組みづくりを目標に進めているが、あくまでもポトムアップを進めていく。

#### 東日本大震災を 受けて見えた課題

**問** 地震発生時、市役所来庁者の避難誘導に課題はなかったか。  
**防災危機管理部長** 一部で避難誘導などの対応が十分に行われず、職員が先に避難するなどの状況があった。幸い大きな混乱や被害の発生はなかったが、反省すべきものと強く認識している。今後は職員の初動体制の統一的な在り方を検討

していく。  
**問** 停電に対応するための避難所への発電機の配置に課題はなかったか。  
**防災危機管理部長** 55か所中、18か所の避難所に発電機を配備していなかったため、一部の避難所では照明がない中での対応となっていました。今後、発電機の配備を早急に進めるとともに、必要な配備を充実していく。

#### 指定避難所の鍵の管理 に課題はなかったか。

**防災危機管理部長** 避難所の門扉と体育館の鍵は、避難所配備職員のリーダーと

次取り組んでいく。  
**問** 「市長給与削減」の公約については、今後どのように進めるのか。  
**市長** 防災予算を増額していくための方法として導き出した答えの一つが「市長給与の50%削減」である。この公約の趣旨を議員に理解いただき、市議会9月定例会に諮りたい。

3月11日の大震災以降、「コミュニティや地域の支え合いの重要性に対する地域住民の意識は高まっている。これらの課題解決には、職員が地域へ出向き、解決策や支援の方向性を一緒に見いだしていくことが大切である。」

### 端 文昭 議員

#### 原発教育と市施策

**問** 「原子力発電所は大きな地震や津波にも耐えられないよう設計されています」と、その安全性を教える副読本が全国の小・中学校に配布された。本市の学校教育は原子力発電の問題をどう取り扱ってきたのか。  
**教育長** 原子力発電の優れた点と課題の両面を教えている。中学校では水力、火

力、原子力といった発電方法の長所と短所を考察するなど、将来にわたりエネルギーを有効、安全に利用する重要性を学習する。  
**問** 「放射能を正しく理解するために、教育現場の皆様へ」と題する文書が4月20日付けで文部科学省から配布された。これによる、1年間に蓄積される放射線量の限度を以前の基準値である1シーベルト以下から20シーベルト以下に変更している。本市教育委員会は、どう取り扱ったのか、見解を聞きたい。  
**教育長** この資料は文部科学省が教職員向けに作成したもので、4月28日に県教育委員会を通じて活用するよう通知があった。しかし5月中旬に同省ホームページから削除されたことから周知はしていない。5月27日に同省は「学校において児童生徒が受ける放射線量は、原子力発電所の活用方法の一つとして受け止める。」

#### 新庁舎の建設と 既存施設の活用

**問** 市役所新庁舎の建設により余剰施設となる新館や豊原分庁舎に旧城島・金目公民館や城島分庁舎で保管している博物館の収蔵品などを移し、旧公民館などを地域要望に沿って活用できるようにすべきでは。  
**企画部長** 建物の状況にもよるが、新庁舎建設後の既

存公共施設の活用方法の一つとして受け止める。  
**問** 城島地区の住民から「城島には小さい子供を遊ばせる場所がまったくないですね」と言われている。旧城島公民館の収蔵物を他所に移して建物を解体すれば、約1000平方メートルの広場ができる。ぜひ検討し、対応してほしい。  
**企画部長** 小さな子供が遊べる安全で利便性の高い場所を整備してほしいという地域住民の切実な願いを、今後既存施設の活用を考慮の中で十分考慮していきたい。

は年間1.5シーベルト以下を目指す」という見解を示した。また留意点として、1時間当たり3.8マイクログラム以上の区域を活動制限区域としている。  
**問** 毎時3.8マイクログラムというのは年間20シーベルトに相当する。毎時3.8マイクログラム以下でも安全だといえないのではないかと。  
**教育長** 国や県からの通知や広報に注視していきたい。  
**問** 学校給食について、食

材の放射能濃度を測定する予定はあるのか。  
**教育総務部長** 暫定規制値を超えた食品については、国が原子力災害対策特別措置法および食品衛生法に基づき出荷制限や摂取制限を行っている。市場に出回る食品は安全という判断で使用している。食品納入時には出荷制限されたものが混入していないか厳重に点検している。そのような理由から、本市で独自に検査を行う予定はない。

米村 和彦 議員  
北金目地区、真田地区の区画整理事業  
**問** 「平塚市の西の玄関」として金目地区のまちづくりを行うに当たり、金目地区で行われている二つの区画整理事業を早く終わらせる必要がある。約17年続いている「真田・北金目特定土地区画整理事業」と「真田特定土地区画整理事業」の進捗状況を伺う。

まちづくり事業部長 「真田・北金目特定土地区画整理事業」は平成22年度末で約8割終了している。「真田特定土地区画整理事業」では、移転していない建物について地元地権者で作る組合が所有者との交渉を続けており、移転に向けた合意を得てから建物の調査等に入ると聞いている。  
**社会教育部長** 今後、同地区の人口増加が目に見える形で出てきた場合は検討する必要があると考える。

まちづくり事業部長 本市の総合交通計画では、真田地区へのアクセス機能の向上を図るためバス事業者と協議し、道路の整備状況や費用対効果を見ながら幹線バスの配置を検討している。「コミュニティバス」の導入については、今後研究していきたい。  
**問** 市の予測では区画整理事業によって北金目・真田の両地区に約6500人の人口増加が見込まれるが、市の公共施設を整備する計画はあるのか。

まちづくり事業部長 図書館は市の構想に基づき4館が、また公民館は各小学校区におおむね1館の計26館があるため、現時点で新たな計画はない。  
**社会教育部長** 今後、同地区の人口増加が目に見える形で出てきた場合は検討する必要があると考える。

小田急線東海大学前駅と市役所、平塚駅を結ぶ公共交通網の整備が地元の強い要望としてあるが、市の



必要があると考えます。

# 6月定例会 総括質問

主な質問と答弁

黒部 栄三 議員

## 市長に問う 「防災対策」

**問** 東日本大地震の発生から3か月が経過したが、津波やゲリラ豪雨への対応など、本市の防災計画について伺いたい。

**市長** 現在検証を進めているが、短期的には「津波避難ビル」の指定、津波による浸水状況のシミュレーション映像や防災マップの制作などを行う。また「災害時要援護者避難支援プラン」の推進や、避難所の安全対策・運営の見直しなどがある。長期的には河川の改修や整備、建築物の耐震化対策などが挙げられる。本市では「ゲリラ豪雨」に早期に対応するため、平成21年度に導入した「防災気象情報システム」により24時間体制で気象監視や解析を行い、初動災害対応を迅速化している。今後は市のホームページで情報を提供するほか、気象情報のメール配信などに取り組んでいきたい。

## 清風クラブ

抽出している。早急に取り組み、秋口をめどに進めていきたい。

## 豊かな心を育む 英語教育

**問** 私は、百年の計は教育にあると考える。子供たちが外国人と交流することや英語に興味を持つことは、世界が広がり大変有意義である。しかし、日本語や日本の文化、歴史、伝統の学習も必要ではないか。

**市長** 今年度、小学校5・6年生に外国語活動が導入された。これは外国語や外国の文化に触れることで、

## 農業の担い手

**問** 農業後継者の育成についてさまざまなメニューが示されているが、どれも総花的でインパクトに乏しい。もっと現場の意見を聞き対応すべきではないか。

**市長** 国や県との調整や金銭的課題もあるが、今まで実施してきた諸政策を拡充し、農地の集積や拡大などの基盤整備も含めて農業が成り立つような環境づくりを進めたい。

## 振り替え休業への 保育所の対応は

**問** 節電対策で製造業を中心とした企業が土・日曜日の採業を予定しているが、保育園の対応を聞きたい。

**健康・こども部長** 市民の

## 震災からの教訓

佐藤 貴子 議員

**問** 3月11日の地震発生後、電話回線が混乱していることは家庭でもすぐに把握できた。小学生の下校については学校により対応が異なったようだが、教育委員会から各学校への指示伝達はこのようにされたのか。

**教育総務部長** これまでのマニュアルでは、地震の震度による判断基準や対応方針は決められていなかった。学校の主体的な判断にゆだねられていたことで、今回の地震の際は混乱を招いてしまった。今後は特別な連絡がなくても自動的に保護者が引き取りをするような対応方針を定め、学校を通じて保護者や地域住民へ知らせていきたい。

**防災危機管理部長** 各学校の無線機を配備し、教育委員会と各学校の間で情報の発信・収集を行うことが最良の手段と考えている。一斉配備に向け検討していく。

**電子カルテの活用は**  
**問** 電子カルテの導入は院内の情報共有につながるが、転院の際に他病院との情報共有はできないのか。

**市民病院事務局** 市民病院の院内システムを利用して診療情報提供書を作成し、画像データを電子媒体に記録して患者に渡している。提供する情報量が増えることで、紹介先での検査の重複なども減ると考えられる。

**特定不妊治療の現状**  
**問** 不妊治療環境の整備について意見を伺う。

**健康・こども部長** 市民病院が看護師奨学資金事業を実施している観点から、同様に必要な医師を育てることも可能ではないか。



# 市議会の議案審査

市議会では、市長から提出された議案などを審議し、市の意思を最終決定しています。年4回、3月・6月・9月・12月に開かれる市議会定例会は、次のような流れで進みます。

初日	①議案の提案説明	市長から議案（予算や条例など）の提案理由の説明を受けます。
2～5日目	②総括質問	議員が議案や市政全般について審議、質問し、市長の説明を求めます。
	③委員会に付託	提案された議案等を、内容によって4つの常任委員会（総務経済、都市建設、教育民生、環境厚生）に振り分けます。
	④常任委員会	付託された議案を各常任委員会で専門的に審査し、委員会としての賛成・反対の意思を決定します。
最終日	⑤報告	各常任委員長が委員会での議案審査の経過や結果を報告し、質疑が行われます。
	⑥討論	議案について賛成・反対の意見が述べられます。
	⑦採決	賛成・反対の採択を行い、議案の可決・否決などを最終決定します。

いる。遠隔地での保管は行っていない。

院で特定不妊治療を実施することや特定不妊治療を行う医療機関を本市へ誘致することは現在考えていない。

臨床研修の終了後に診療科を選択するため、看護師奨学資金事業のような制度は適当でないと考えている。

**6月定例会**  
**総括質問**  
主な質問と答弁

岩田 耕平 議員

**「公約と所信表明」市長の誓いを問う**

**問** 東日本大震災の発生により、政治、経済の様相は一変した。社会システムや安心・安全への対応など、全面的な見直し求められる。困難な社会情勢に直面し、市長はどのように行政をリードしていくのか。

**市長** 先行きの不透明な経済、少子高齢化社会、財政の硬直化など大変厳しい社会情勢の中で、安心・安全なまちづくりや、活力ある平塚を取り戻すことが最も重要な課題であると考える。政策公約の実現が、これらの課題の解決につながると確信している。社会情勢の変化を的確にとらえ、「選択と集中」の考えのもとに取り組む。

**問** 過去に津波や大雨洪水災害に対する相模川の堤防未整備箇所の危険性について質問したが、国や県の管轄であり、特に津波は「想定外」と一蹴された。だが災害は待ってくれない。スピード感のある対応をとることはできないのか。

**市長** 東日本大震災における津波被害を見て、津波対策が喫緊の課題であると認識している。その点を踏まえ、地域防災計画の見直しに取り組みたい。また「津波避難ビルに関する協定」の締結など、できる部分から早急に取り組む。

**平塚自民クラブ**

識している。その点を踏まえ、地域防災計画の見直しに取り組みたい。また「津波避難ビルに関する協定」の締結など、できる部分から早急に取り組む。

**問** 地域経済の活性化について、中心商店街の衰退が顕著である。地域成長戦略を企画・実践し、差別化により地域活力を生み出す努力が必要であるが、市長は本市の経済をどのように活性化していくのか。

**市長** 地域経済を活性化し、元気で活力ある平塚を実現するためには、行政のトップとして市長自らセールス活動を行うことが必要であると考える。企業の優秀な技術をはじめ、平塚産の製品、農水産物、観光資源など、平塚市の魅力を私自身が先頭に立ってPRしていく。

**問** 事業仕分けの強化や業務の民間委託など、市役所の経営改革に関する市長の政策公約が多数の市民の信託を受けている。しかし公約といえども、財源の裏づけのない歳出計画は認められない。次世代への責任と地域の自立という観点からも増収増支が求められると考えるが見解を伺う。

**市長** 政策を展開するうえで、財源の確保は当然必要である。現行の財政健全化プランを見直すとともに、歳出の削減策として地域手当の見直しや業務のアウトソーシングなどに取り組ん

**健全な教科書採択を**

**問** 小・中学校の教科用図書について、どのような観点で採択していくのか。

**教育長** 図書の採択については、県教科用図書採択検討委員会や市の教科用図書採択検討委員会の調査研究などを参考にしている。学習指導要領に基づき、学校や児童・生徒、地域等の特性を考慮しながら、公正な採択事務を進めている。

**命の安全、津波対策**

**問** 津波が発生した際の避難場所の確保をどう考えているのか伺う。

**副市長** 津波発生時は迅速に高い所に避難することが必要ではないか。

**野崎 審也 議員**

**問** 津波が発生した際の避難場所の確保をどう考えているのか伺う。

**環境部長** 家庭ごみ収集の指定袋制導入や有料化には、ごみの減量や受益と負担の公平性など、市民の意識を改革する効果がある。また戸別収集と一緒に導入することで、ごみステーション問題の解決や事業系ごみの分離ができること、福祉サービスの向上まで期待できる。短所は費用負担の発生や、戸別収集においては経費が増えることが挙げられる。「家庭ごみ指定袋制」の導入や収集の有料化については、総合的に議論し施策を検討する。

**家庭ごみ収集有料化**

**問** 本市では事業系のごみ収集業務を今年から民間業者に開放した。ごみを減らすには近隣自治体でも実施している有料化の検討も

**市長** 初めから有料化ありきではなく、発生の抑制や資源化、減量化を行うために、市民と一緒に取り組む体制づくりを進めたい。市民企業、行政が一体となって進めなければならぬと考えている。

**立堀橋と下之宮橋の整備**

**問** 波田川にかかる立堀橋と鈴川にかかる下之宮橋の整備について、具体的内容として、市長はどのように考えているのか。

**教育総務部長** 県内では7市8町で「完全給食」を実施し、3市2町で弁当の持参と購入を選択できる「弁当併用デリバリー方式」を実施している。中学校給食の実施を望む声があることは承知しており、今年度設置予定の「学校給食調理場検討委員会」の中で調理場の在り方や給食に対する児童・生徒の考え方、市民の意識などを調査する。

**快適な生活駐輪対策 紅谷パールロード**

**問** 「平塚駅周辺の駐輪対策」が平成22年1月に策定されたが、進捗状況と今後の整備計画を伺う。

**市民部長** 駅前大通り線自転車駐輪場を1列駐輪の自転車駐輪場として整備する。駅西口西地については、バリアフリー施設と一体的に整備する。

**市民の元気「七夕」 夢・勇気・感動発信**

**問** 今年の七夕まつりは午後7時で消灯されるが、七夕まつりの魅力は夜にあり、来年は消灯時間の延長を考えていただきたい。また新しい七夕まつりを実現する検討委員会をつくることに対して見解を伺う。

**経済部長** 市主体の運営や事務局の対応などに限界があるとの意見もある。検討委員会設置の提案については実行委員会の中で示していく。

**市政への要望を市議会へ 請願・陳情の提出方法**

市政に関することや地域の身近な問題などで、市民のみなさんの意見や要望などを直接市議会に提案できる制度として、「請願・陳情」があります。請願・陳情はどなたでも提出することができます。

**■請願書・陳情書の提出方法**

請願書・陳情書には、日付、住所、氏名（団体名・役職名）の記載と押印が必要です。宛て先は平塚市議会議長としてください。また、請願書には紹介議員の署名が必要です。なお、請願・陳情者が多数の場合は、代表者以外の請願・陳情者の署名や押印などのある「署名簿」を添付することができます。

**■提出の締め切り**

請願の提出締め切りは本会議第2日目の午後5時です。陳情の提出締め切りは定例会で開催する議会運営委員会の2日前です。なお、請願・陳情者の住所・氏名等は一般に公開されます。あらかじめご了承ください。

◆記載方法などでご不明な点は、議会局（☎ 21-8791）にお問い合わせください。



**6月定例会**  
**総括質問**  
 主な質問と答弁

鈴木 晴男 議員

**市長に問う**

**問** 新市長は11の柱からなるマニフェストを掲げて当選した。政策の目標数値・達成期限・財源などを市民に示すべきと思うが、財源の確保なども含めて見解を伺う。

**市長** マニフェストは、多くの市民との対話に基づき作成したものである。長期にわたるものを除いて、4年以内に実施したいと考えている。これらを今後の市政運営に反映させるためには各種施策との整合を図ることが重要であり、本市の総合計画・実施計画などに位置づけて、市民に示したい。

**防災対策について**

**問** 災害発生時、住民基本台帳のデータを基に被災者台帳を作成し、被災状況を把握すること、り災証明書の発行から義援金の交付、救援物資の管理、仮設住宅の入居などを一元管理することができる「被災者支援システム」があるが、導入について市の考え方を聞く。

**市長** 大規模な災害が発生

**公明ひらつか**

**相模小学校の移転**

した際には、避難所への入所・退所や救援物資の在庫管理、り災証明書の発行や仮設住宅への入居など、多岐にわたる情報管理が必要となる。「被災者支援システム」の導入については、このような災害発生当初から復旧・復興までの業務に総合的に対応できるメリットがあり、混乱する災害対策業務において大幅な事務の迅速化や適正化に資するものと考えられる。先進都市における実績も踏まえながら、導入に向けて検討していきたい。

**相模小学校の移転** 相模小学校校移転に対する考え方と、遅れてしまっている総合計画をどのように見直すのか見解を伺う。

**市長** 相模小学校の移転など、地域の環境整備について大神地区の住民と約束をした合意書があり、合意事項の履行義務と責任は本市にあると考えている。今後は地元との協議を進め、候補地の選定や移転にかかる諸課題を解決していく。また「街づくりは災害の拠点となる学校を中心に動線な

**伊東 尚美 議員**

**公共施設の利活用について**

**問** 厳しい財政状況の中で、施設の維持管理に要するコストを削減し、市民にとって有効な利活用が行われているかを検討すべきである。例えば旧五領ヶ台高校の施設も近隣市町と協議し、複合的な施設にするなどの広域的な利活用も考えるべきと思うが見解は。

**副市長** 旧五領ヶ台高校については、財政面などから取得は困難である。公共施設の広域的利活用については、さまざまな研究を見極めながら探求していく。

**問** 公共施設の複合的な活用について、八幡小学校の教室や施設を利用した「やわた子ども村」という素晴らしい取り組みが行われている。地域のコミュニケーションの在り方、地域で子育てをしていくという考え方を広めてほしいが見解は。

**放射線測定について**

**問** 市内の教育施設58か所での放射線測定結果が市のホームページなどで公表されたが、携帯電話などからリアルタイムに情報を得られる「ほっとメールひらつか」でも配信してはどうか。

**環境部長** 放射線の問題は子育て世代の関心が高いことを考慮し、ニーズに合わせた配信を検討する。

**問** 放射線の問題に対する教育現場の対応を伺う。

**秋澤 雅久 議員**

**学校ICT支援の強化を**

**問** 中学校教員に続き小学校教員にも一人一台のパソコンが配備される予定だが、運用面のサポートはできるのか。

**教育総務部長** サポート体制の適正化を図るためには、ICT支援員による継続的な支援や、トラブルに対応できる新たな専門員の配置が必要と考える。

**問** ネットワークに関するトラブルについて、教育委員会にも専門的技術者の配置が必要と思うがどうか。

**教育総務部長** ネットワークを安定的、安全に運用していくうえで、技術者の存在は欠かせないと認識している。今後市庁内関係部署



**ご利用ください**

## 点字版議会だより 声の議会だより

平塚市議会では視覚障がいのある方に向けて、ひらつか議会だよりの掲載記事を抜粋した「点字版議会だより」と、音声による「声の議会だより」をご用意しています。ご希望の方には郵送しますので、お近くに必要の方がいる場合はご案内させていただきますようお願いいたします。

「点字版議会だより」は、市役所1階市政情報コーナーや各図書館でもご覧いただけます。

※「声の議会だより」は平塚市社会福祉協議会と平塚音訳赤十字奉仕団の協力により作成しています。

☎ 議会局 (21-8791)

この協議を続けていく。

**これからの情報政策**

**問** 市として、目指すべき情報政策の在り方やビジョンを明確にすべきと思うが見解は。

**企画部長** 情報化ビジョンそのものは、総合計画の中でまちづくりを展開する原動力の一つに位置づけている。新たなデジタル技術や情報を的確にとらえ、本市の情報政策事業に生かしていきたい。

**問** 民間ではCIOと呼ばれる情報に対する最高責任者を配置することがある。情報政策の中で知識、技能、権限を併せ持つ人材が必要と考えるが見解は。

**企画部長** 今日の情報化社会の変化の激しさを考えると全くその通りであると思う。情報化に対応するため、人材の確保を真剣に考えていかなければならない。今後人事部門とも連携しながら、研究・検討していきたい。

※ ICT支援員 学校における情報科の授業を支援するための職種。Information and Community Technology=情報通信技術

# 6月定例会 総括質問

主な質問と答弁

## 日本共産党平塚市議会議員団

大神・田村地区に市民病院分院の設置を求める。

**市長** 医師・看護師の不足に加え、土地の問題や施設の整備、高度医療機器への投資が大きな負担になるため大変厳しい。

### 相模川堤防未整備箇所 の早急な整備を

**問** 相模川右岸の四之宮地区に、堤防の未整備箇所がある。国土交通省に早急な整備を要望したが、完了まで4年かかるという。もっと早める方法はないのか。

**市長** 用地問題や施工時期の制約があり難しいと考えられるが、国や県と連携し、一日も早い完成に向け努力する。

### 市民病院の分院を

**問** 市民病院には市全体をカバーする対応が求められるが、大津波や洪水で浸水した場合、診療に大きな支障が出る。市民の命を守る病院の分散化を図るため、

## 日本共産党平塚市議会議員団

このポケットブックは震度5強以上の地震への対応が基本である。今回混乱した震度5弱での対応については不明確ではないか。

**市長** 学校安全防災計画を細部にわたって見直す中で対応する。

### 消防職員の増員を

**問** 本市の消防職員数は263人で、国の基準と比べ114人不足している。災害に備え、消防職員を増員することは緊急の課題である。東日本大震災への支援部隊派遣の影響と、最近の

### 学校での3・11教訓

**問** 東日本大震災における平塚市の震度は5弱であり、保護者が子供の引き取りをするレベルなのかどうか明確ではなかった。電話等も一切不通となり、帰宅できない保護者も多く、大きく混乱した。対応方針を明確にすべきではないか。

### 避難協定締結に向け 市としての支援は

**問** 避難協定締結の取り組みについて現在の考えは。防災危機管理部長 津波に対する避難場所の確保が大きな課題である。避難対象となるビルの抽出を進めているが、本市が主体となり自治会・所有者等との三者協定締結が望ましい。

### 民間住宅の耐震補強

**問** 耐震改修の現状と、今後の拡充策は。まちづくり政策部長 景気

### 防災危機管理部長

条例への規定はなじまないため、開発時の協議項目とした。見直すべきでは。

救急出動の特徴を伺う。**市長** 緊急消防援助隊は、26日間で延べ48人を派遣した。本来勤務日ではない職員を出動させたことで、本市の救急体制に影響はなかった。最近の救急出動の特徴は、高齢の傷病者の搬送が増加していることである。

**問** 消防職員の増員計画を立てるべきであるが、本市の状況は他市と比較してどうなのか。

**市長** 救急隊の増員は、準備を進めていきたい。**消防長** 本市の人口当たりの消防職員数は、横浜市、川崎市に次ぎ県内で3番目に少ない。

### GPS津波計設置を

**問** 津波による被害軽減のため、相模湾にGPS津波計を設置してはどうか。防災危機管理部長 国等へ要望していく。

### 相模川河口堤防整備

**問** 現在の整備計画はどのようになっているのか。まちづくり事業部長 国は4年の計画を3年に短縮し早期完成を目指す。本市も早急な整備を要望していく。

### GPS津波計設置を

津波による被害軽減のため、相模湾にGPS津波計を設置してはどうか。防災危機管理部長 国等へ要望していく。

## 無所属

### 鈴木亜紀子 議員

### 乳幼児健診について

**問** 平成22年度の集団健診における個別相談中、心理相談が539件あり、これには発達に心配のある子供の相談も含まれる。子供の発達遅れを指摘され嫌な思いをしたという話も聞く。個別相談には専門の医師や発達を理解している医師、研修を受けたスタッフの配置が必要ではないか。

**健康・こども部長** スクリーニングが目的なので、専門の医師の配置は考えていない。健診後専門的な検査が必要な際は担当機関や健診事業で行っており、連携をとって補っていくよう努める。

**問** 平成26年度までに受診率を100%とすることが目標だが、障がいのある子供が集団健診に行きにくいという事例がある。日程や方法を選択できると受診しやすいが、受診率を上げる取り組みはあるか。また安心して受診できる環境を作っていく考えはないか。**健康・こども部長** 健診自体の大きな変更は難しい。今後受診率の低い要因を分析し、周知の方法を検討し受診率向上を目指す。相談があれば個々に対応しているので積極的にPRする。健診が受けにくいのであれば、環境改善に努める。**問** 母子健康カードの情報共有し、就学後の継続した支援に活用できないか。**健康・こども部長** 今後の課題だが積極的に検討する。

**問** 平成26年度までに受診率を100%とすることが目標だが、障がいのある子供が集団健診に行きにくいという事例がある。日程や方法を選択できると受診しやすいが、受診率を上げる取り組みはあるか。また安心して受診できる環境を作っていく考えはないか。**健康・こども部長** 健診自体の大きな変更は難しい。今後受診率の低い要因を分析し、周知の方法を検討し受診率向上を目指す。相談があれば個々に対応しているので積極的にPRする。健診が受けにくいのであれば、環境改善に努める。

**問** 母子健康カードの情報共有し、就学後の継続した支援に活用できないか。**健康・こども部長** 今後の課題だが積極的に検討する。

### 無所属

**問** 平成26年度までに受診率を100%とすることが目標だが、障がいのある子供が集団健診に行きにくいという事例がある。日程や方法を選択できると受診しやすいが、受診率を上げる取り組みはあるか。また安心して受診できる環境を作っていく考えはないか。**健康・こども部長** 健診自体の大きな変更は難しい。今後受診率の低い要因を分析し、周知の方法を検討し受診率向上を目指す。相談があれば個々に対応しているので積極的にPRする。健診が受けにくいのであれば、環境改善に努める。

**問** 母子健康カードの情報共有し、就学後の継続した支援に活用できないか。**健康・こども部長** 今後の課題だが積極的に検討する。

**問** 母子健康カードの情報共有し、就学後の継続した支援に活用できないか。**健康・こども部長** 今後の課題だが積極的に検討する。

## 専決処分を承認

### 市議会5月臨時会(5月19日開催)

平塚市議会では5月19日、4月の統一地方選挙後初の議会である5月臨時会を開催し、市長から提出された「専決処分の承認について」などの議案を審議しました。

この専決処分は、平成22年度一般会計に対して、22年度最後の市議会である3月定例会の開催時点で確定していなかった地方譲与税や各種交付金、基金積立金などの予算補正を行ったものです。臨時会で審議の結果全員異議なく、同議案は可決されました。

#### ◆議会の豆知識【専決処分とは】

地方自治法第179条に基づく「専決処分」

専決処分とは、本来は議会での議決が必要なことを、議会を招集する時間がない場合などに首長が単独で決めることをいいます。専決処分で決めたことについては、次の定例会で議会の承認を求めます。

## 無所属

### 江口 友子 議員

### 市民主役のまちづくりをどう進めるか

**問** 市長はマニフェストの中で、公民館を地域自治の拠点とした「まちづくりセンター」をつくることや、専門知識を持つ市民の方を力発揮してもらうための登録制度、地域ごとのホームページ立ち上げを具体的な取り組みとして掲げ、「市民が主役のまちづくり」を進めることを約束した。しかし「市民が主役のまちづ

くり」を進めようとするわりには、具体的な取り組みも市長の発言も消極的である。市政の重要課題は「俺と行政にまかせろ」では困る。財政難の今、公共事業の優先順位の決定や今後の福祉施策の在り方など、市政の重要課題を検討する際は、市民の積極的な参画を求めるべきではないか。**市長** 市民の意見を吸い上げるための仕組みをこれから検討していきたい。本市総合計画の基本計画を根本的に見直す場合には、市民の意見にも真摯に耳を傾けたい。

**問** 大蔵前市長は市民との車座での座談会「いどばた

会議」を実施していたが、市長はこの取り組みをどう評価しているか。

### 企画部長

市民の意識や考えをとりえる大切な場であると考えており、実施に向けて検討していきたい。

### スクールソーシャルワーカーの市費配置

**問** 市長のマニフェストでは、「虐待、不登校、経済的困窮問題などの解決にあたる専門職「スクールソーシャルワーカー」を配置する」とある。市の予算で採用・配置していく構想はあるか。

### 学校教育部長

県のスクールソーシャルワーカー活用事業の動向も見極めながら、市費単独の採用について検討していきたい。

**問** これまでよりも一歩踏み込んだ答弁だったが、財源の確保や配置先などの構想を答えてほしい。**学校教育部長** 具体的な内容については、これから検討していく。

## インターネットで 会議録を検索

市議会の審議の様子を「会議録」としてまとめています。会議録は市役所1階市政情報コーナーでご覧いただけるほか、平塚市議会のホームページでもご覧いただけます。

※6月定例会の会議録は8月下旬に発行・掲載します。



www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/gikai/



# 6月定例会の質問者と主な項目

( )内は質問時間

<p><b>出村 光：湘南フォーラム (30分)</b></p> <p>1 市長に問う</p> <p>(1) 所信表明及び提案理由の説明書から</p> <p>ア 防災対策</p> <p>イ 行財政計画</p> <p>ウ 小児医療費の無料化拡大</p> <p>エ 福祉村</p> <p>オ 地域経済の活性化</p> <p>カ 都市基盤整備</p> <p>(2) 選挙公報による市長の公約から</p>	<p><b>鈴木 晴男：公明ひらつか (30分)</b></p> <p>1 市長に問う</p> <p>(1) マニフェストと所信表明から</p> <p>2 教育長に問う</p> <p>(1) 「奏プラン」進捗状況</p> <p>(2) マニフェストとの整合性</p> <p>3 諸課題</p> <p>(1) がん検診受診率向上への取り組み</p>	<p>(2) その他のがん検診も含めたPR方法</p> <p>4 平塚市の不妊治療について</p> <p>(1) 不妊治療の本市の考え</p> <p>(2) サポート体制の確立を</p> <p><b>金子 修一：平塚自民クラブ (25分)</b></p> <p>1 市長の政策及び考え方を尋ねる</p> <p>(1) 中学校給食実施について</p> <p>(2) ごみ減量化について</p> <p>(3) 市長の指導力について</p> <p>ア 行政組織改革</p> <p>(4) 市長・特別職給与について</p> <p>2 立橋橋(浜田川)・下之宮橋(鈴川)整備について</p> <p>3 新庁舎建設に関わる総合評価方式</p> <p>4 崇善公民館建て替え及び耐震診断</p>	<p>(1) 教育は原発と向き合ってきたか</p> <p>(2) 放射能災害への備えは</p> <p><b>野崎 審也：平塚自民クラブ (23分)</b></p> <p>1 第61回湘南ひらつか七夕まつり</p> <p>2 危機管理対応における検証について</p> <p>(1) 3・11の震災時及びその後の対応</p> <p>ア 防災面での取り組み</p> <p>イ 節電対策</p> <p>3 平塚市の駅周辺の駐輪対策について</p> <p>(1) 紅谷パールロードの現状と対策</p> <p>(2) 平塚市自転車の放置防止に関する条例等の改正案</p>
<p><b>黒部 栄三：清風クラブ (30分)</b></p> <p>1 市長に問う</p> <p>(1) 命と財産を守る防災活動</p> <p>(2) 豊かな心を育てる学びの場</p> <p>(3) 教育環境の充実</p> <p>(4) 命と育ちを守る子育て支援</p> <p>(5) 自然環境</p> <p>ア 農業の担い手</p> <p>(6) 地域経済の活性化</p> <p>(7) 都市基盤整備</p> <p>(8) 市役所組織の経営改革</p> <p>2 諸課題</p> <p>(1) 夏の電力削減対応について</p>	<p><b>渡辺 敏光：日本共産党平塚市議会議員団 (25分)</b></p> <p>1 市長に問う</p> <p>(1) 平塚市の防災・災害対策について</p> <p>ア 公共施設の災害対策</p> <p>イ 市民病院の分院化</p> <p>ウ 消防力の強化 ~職員の増員~</p> <p>エ 学校現場での安全対策 ~災害時の対応から~</p> <p>オ 災害対策からの中学校給食</p> <p>カ 避難場所の安全性</p> <p>キ 未利用の市有地の扱い</p>	<p><b>伊東 尚美：公明ひらつか (20分)</b></p> <p>1 公共施設の利活用について</p> <p>(1) 本市の現状と課題</p> <p>(2) 将来に向けた考え方</p> <p>2 民間活力を活かした市民サービスの向上</p> <p>(1) 広報業務のアウトソーシング化</p> <p>(2) 雑誌スポンサー制度の導入</p> <p>3 放射線測定について</p> <p>(1) 震災後の対応と情報提供</p>	<p><b>秋澤 雅久：公明ひらつか (15分)</b></p> <p>1 議案第38号 平成23年度平塚市一般会計補正予算</p> <p>(1) 電子計算機運用管理事業について</p> <p>2 これからの情報政策について</p> <p><b>米村 和彦：湘南フォーラム (16分)</b></p> <p>1 区画整理事業について</p> <p>(1) 真田・北金目特定土地区画整理事業及び真田特定土地区画整理事業</p> <p>ア これまでの経過と現状</p> <p>イ 事業費と市の負担</p> <p>ウ 今後の見通し</p>
<p><b>岩田 耕平：平塚自民クラブ (30分)</b></p> <p>1 市長に問う</p> <p>(1) マニフェスト及び所信表明の誓いより</p> <p>ア 命と財産を守る防災活動</p> <p>イ 市民が主役のまちづくり</p> <p>ウ 地域経済の活性化</p> <p>エ 都市基盤づくり</p> <p>オ 市役所の経営改革</p> <p>(2) 健全な教科書採択について</p> <p>ア 教科書の問題記述</p> <p>イ 教科用図書採択基準の改善</p> <p>ウ 「開かれた採択」への対応</p>	<p><b>小泉 春雄：湘南フォーラム (25分)</b></p> <p>1 選挙結果と市政運営について</p> <p>2 東日本大震災を受けて</p> <p>(1) 見えた課題</p> <p>(2) 26万市民を守る市長の決意</p> <p>3 湘南ひらつか七夕まつりについて</p> <p>(1) 規模縮小と予算</p> <p>(2) 来年の湘南ひらつか七夕まつり</p> <p>4 新庁舎建設と既存施設について</p> <p><b>佐藤 貴子：清風クラブ (30分)</b></p> <p>1 地震等防災対策について</p> <p>(1) 緊急時の情報伝達等</p> <p>(2) 災害時要援護者選定</p> <p>2 市民病院整備体制について</p> <p>(1) 院内システムの整備</p> <p>(2) 震災等の緊急時対応</p> <p>3 がん等検診促進について</p> <p>(1) 大腸がん・肝炎ウイルス受診勧奨</p>	<p><b>高山 和義：日本共産党平塚市議会議員団 (14分)</b></p> <p>1 地域避難協定の締結と市としての支援について</p> <p>2 民間住宅の耐震補強推進について</p> <p>3 相模川河口域堤防等整備について</p> <p>4 相模湾へのGPS津波計(波浪計)設置</p> <p><b>端 文昭：湘南フォーラム (20分)</b></p> <p>1 落合新市長に問う</p> <p>2 両副市長に問う</p> <p>3 平塚市のエネルギー政策について</p> <p>(1) 平塚市節電対策方針</p> <p>(2) 本市の電力消費と発電能力</p> <p>4 原発教育と市施策について</p>	<p><b>鈴木 亜紀子：無所属 (13分)</b></p> <p>1 乳幼児健診について</p> <p>(1) 健診の現状と受診者への対応</p> <p>(2) 未受診者への対応</p> <p>(3) 母子健康カードの活用</p> <p><b>江口 友子：無所属 (19分)</b></p> <p>1 落合市長のマニフェスト「動かせ、平塚。1461」から市長の方針を問う</p> <p>(1) 「市民が主役のまちづくり」</p> <p>(2) 「豊かな心を育てる学びの場」</p> <p>ア 学校現場のマンパワー充実について</p> <p>イ スクールソーシャルワーカーの配置について</p>

## 常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の委員会に付託して審査を行いました。

### 環境厚生 常任委員会

議案3件を審査し、すべて原案通り可決すべきものと決定しました。

**◆主な質疑**

○議案第39号「平成23年度平塚市病院事業会計補正予算」

**質** 市民病院用地取得事業債が補正計上されているが、なぜ今土地を取得する必要があるのか。

**答** 来院者用として賃借をしていた駐車場用地の取得を予定している。土地の所有者から事情により譲渡したいという申し出があり、

### 総務経済 常任委員会

議案3件を審査し、すべて原案通り可決すべきものと決定しました。また請願1件を審査し、不採択とすべきものと決定しました。

**◆主な質疑**

○議案第38号「平成23年度平塚市一般会計補正予算」

**質** 防災対策費で津波浸水のシミュレーション動画を制作するが、どのような規模の津波を想定するのか。

**答** 動画は各地域の浸水想定を知っていただくためのものである。どのような高さの津波が発生した場合に地域がどのように浸水していくのかということが分かるようになっていく。

**質** 海抜表示板の設置費用が計上されているが、どこ

利用者の利便性などを考え購入することとした。

○議案第43号「平成23年度平塚市一般会計補正予算」

**質** 次期環境事業センター建設予定地からダイオキシン類が検出され、土地の土壌改良をするための補正予算が計上されたが、あらかじめ土壌調査が行われなかったのはなぜか。

**答** 以前の調査では問題なかった。その後、過去にあった焼却場の煙突基礎が発見され、ダイオキシン類が検出された。当時、煙突を解体する際に、何らかの事情でダイオキシン類が散ったものと考えられる。

### 教育民生 常任委員会

議案2件を審査し、すべて原案通り可決すべきものと決定しました。また請願1件を審査し、不採択とすべきものと決定しました。

**◆主な質疑**

○議案第34号「平塚市暴力団排除条例」

**質** 神奈川県暴力団排除条例に対して、本市の条例はどう関係していくのか。

**答** 県条例は県民や少年の保護などを網羅しており、

### 都市建設 常任委員会

議案2件を審査し、すべて原案通り可決すべきものと決定しました。

**◆主な質疑**

○議案第38号「平成23年度平塚市一般会計補正予算」

**質** (仮称)寺田縄北公園の整備経費が計上されているが、整備に当たって地域の住民の声は十分反映されているのか。

**答** ワークショップを開き地域住民と検討を重ねてきた。この地区の代表的な公園になるものと思う。

**質** 横断歩道の設置費用が計上されているが、どこに設置するのか。

**答** 設置場所は金田小学校東側の正門前である。平塚警察署から信号機設置の打診があったため、歩行者の滞留場所として用地取得費などを計上した。

本市条例は市の施策や施設を対象としている。関係機関と連携し、安心安全な生活が送れるよう努めたい。

○議案第38号「平成23年度平塚市一般会計補正予算」

**質** 小・中学校の屋上に津波から避難する際のフェンスを設置する予算が計上されているが、避難経路や夜間の対応は検討したのか。

**答** 学校は広域の避難所であり、地域住民も利用する。階段が屋上まで続いているが、夜間は施錠されているので対応を検討する。

# 平塚市議会 6月定例会 議案の審議結果

6月定例会では、市長提案による10件の議案と議員提案による1件の会議案について審議し、すべて原案どおり可決しました。

○賛成 ×反対

番号	件名	湘南フォーラム	清風クラブ	平塚自民クラブ	公明ひらつか	日本共産党平塚市議会議員団	無所属 A	無所属 B	無所属 C	結果
議案第34号	平塚市暴力団排除条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	工事請負契約の締結について〔南原小学校屋内運動場耐震補強工事(建築)〕	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第38号	平成23年度平塚市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
議案第39号	平成23年度平塚市病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	×	○	同意
議案第41号	副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第42号	工事請負契約の締結について〔松風町・久須野貯留管築造工事その2〕	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	平成23年度平塚市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
会議案第5号(議員提出議案)	神奈川県最低賃金改定等についての意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
報告第3号	専決処分の報告について									
報告第4号	継続費の通次繰越しの報告について									
報告第5号	繰越明許費の繰越しの報告について									
報告第6号	事故繰越しの報告について									
報告第7号	公営企業会計予算繰越しの報告について									
報告第8号	財団法人平塚市文化スポーツまちづくり振興財団の経営状況について									
報告第9号	平塚市土地開発公社の経営状況について									
報告第10号	財団法人平塚市生きがい事業団の経営状況について									

会派名等	所属議員名
湘南フォーラム	米村和彦 内堀祐一 端文昭 小泉春雄 府川正明 山原栄一 出村光 (7人)
清風クラブ	数田俊樹 佐藤貴子 黒部栄三 坂間正昭 須藤量久 吉野和美 (6人)
平塚自民クラブ	片倉章博 野崎審也 白井照人 岩田耕平 出縄喜文 金子修一 (6人)
公明ひらつか	秋澤雅久 伊東尚美 小笠原千恵美 永田美典 鈴木晴男 (5人)
日本共産党平塚市議会議員団	高山和義 松本敏子 渡辺敏光 (3人)
無所属	鈴木亜紀子(A) 江口友子(B) 高橋紀英(C)

## 可決した意見書

神奈川県最低賃金の改定等に関して、平塚市議会として神奈川県知事に宛て意見書を提出しました。

神奈川県最低賃金改定等についての意見書(抜粋)

2011年の神奈川県最低賃金の諮問・改定に関して、次の事項について、特段の配慮をされるよう強く要望する。

- 1 神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うこと。とりわけ「同一価値労働同一賃金」の観点にたち、フルタイム正規雇用労働者の賃金水準への接近を基本にその改定を図ること。また、特定最低賃金の改定については、大企業の組織労働者の賃金水準への接近を基本にその改定を図ること。
- 2 最低賃金の改定に当たっては、地方最低賃金審議会の自主性を尊重すること。
- 3 最低賃金論議については、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう、生活保護に係わる施策との整合性を考慮することが確認されていることから、早期に生活保護を下回らない「生活できる最低賃金」となるよう適切な対応を示すこと。

平成23年6月30日

平塚市議会

## 請願の審査結果

6月定例会では2件の請願を審査しました。

番号	件名	付託委員会	委員会審査結果	本会議結果
請願第4号	市直営による中学校の完全給食実施を求める請願	教育民生常任委員会	不採択	不採択
請願第5号	原子力発電による災害の対策についての請願書	総務経済常任委員会	不採択	不採択



## 市議会9月定例会の予定

日程	会議名等
8月26日(金)	定例会本会議初日(提案説明等)
9月6日(火)	定例会本会議2日目(総括質問)
9月7日(水)	定例会本会議3日目(総括質問)
9月8日(木)	定例会本会議4日目(総括質問)
9月9日(金)	定例会本会議5日目(総括質問)
9月13日(火)	総務経済・都市建設常任委員会
9月14日(水)	教育民生・環境厚生常任委員会
9月21日(水)	定例会本会議最終日(採決等)

※開会は午前10時を予定しています

## 市議会を傍聴しませんか

市役所庁舎の建て替えに伴い、本会議および常任委員会は勤労会館で開催しています。

